

けら おき まる かんきょうほぜん かい

介良沖ノ丸環境保全の会

～介良の農地、地域の絆を後生に～



二期作PR・田植えと稲刈りを同時に実施



レンゲによるカバークロップの試験栽培

経緯

- 生産者の高齢化や後継者不足対策、自然豊かな地域と伝統農業を後世へ継承しつつ新しい取り組みへ挑戦すること等を目的に平成19年に「介良沖ノ丸環境保全の会」を発足。
- 平成20年「介良沖ノ丸環境保全農業組合」を設立し、連携して活動を実施。

取組内容

- 農作業体験や水田の生き物観察、地域住民等が参加する農作業イベントを通じ、児童が自然の大切さを理解するとともに収穫の喜びを感じる食育の機会を作る。
- 白鷺をはじめとした、水鳥の豊かな生態系の維持を目指して活動しており、令和4年度からは、肥料価格高騰対策も踏まえカバークロップの取組を開始。
- 100年以上続く二期作の伝統や技術を後世に伝えるため、二期作を継続。

活動の効果

- 水鳥が集まる「白鷺の里」としての取組を始め、地域ブランド米「白鷺米」を確立し、地区内の米の生産拡大だけでなく、近隣の生産者をも巻き込んだ農業の活性化を図っている。また「白鷺米」は、地域の球場でキャンプを行うプロ野球球団に提供したり、高知市のふるさと納税に出品したりと、様々な取組に活用し、地域のPRにつなげている。
- 小学校の学習田を活用した農作業体験による食育活動は、会員にとっても楽しみとなっており、継続的な取組につながっている。

応募団体からのアピール・メッセージ

二期作の発祥の地として、二期作を通じて国産穀物(家畜飼料用米)の供給に力を入れ、日本の食料自給率向上に寄与することを目指して活動しています。